

3. 社会と向き合う

① 体験！シューカツ面接官

《ねらい》

○子どもの進路選択のアドバイスが難しいと感じる親は多い。そこで、社会的・職業的に自立するために必要な力は知識や資格取得とともに、社会性や責任感、意欲等日々の生活で身につけていくことも多くあることに気づき、子どもへのアドバイスに活かす。

《準備物》

- 主催者（学校等）：ワークシート
- 参加者：筆記用具

	時間 (65分)	主な活動	発言	留意点
導入	10	1. 学習のねらい		
		<p>子どもの将来の姿を考えると、子に「社会的・職業的に自立できる力」をつけられるかどうか気にかかるところです。より良い進路選択のためには、親から子へのアドバイスは大切です。進路について様々なケースはあると思いますので、みなさんで一緒に考えてみましょう。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。</p>		
		2. アイスブレイク ・仲間探し	アイスブレイク編 P10 参照	
		3. ルールとマナーの確認		
展開	5	4. ワークシートに記入する。 (ワーク1)	4. 新卒者の採用面接をすることになりました。受験者に求める力をもとに面接の質問を2つ考え、 ワーク1 に記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> • 知識や仕事に必要な資格は考えない。職業は、参加者の自由にイメージできるものでよい。 • 面接では、意欲・適性・能力とは関係のない不適切な質問は避けなければなりません。
	30	5. グループで話し合う。 (ワーク2) (ワーク3)	5. グループで、ワーク1に記入した内容を話しましょう。 次に、必要な「力」について話し合い、順位を決め、 ワーク2 に記入しましょう。 ・その「力」を、わが子が身につけるために、親として何ができるのか話し合い、 ワーク3 に記入しましょう。	
	10	6. グループ毎に発表する。	6. 親にできることを発表しましょう。	
まとめ	5	7. ふりかえり	7. 今日を振り返って感じたこと、気づいたことをワークシートにまとめましょう。	<ul style="list-style-type: none"> • 抽出グループでも可。
	5	8. まとめ	<p>仕事に必要な「力」について意見交換をしていただきました。仕事には知識や資格だけでなく、社会性や責任感、意欲など様々な力が必要です。</p> <p>高校生と保護者を対象とした進路に関する意識調査では、多くの高校生は進路に不安があり、保護者からのアドバイスを望んでいるそうです。また、進路についての対話が増える高校生ほど前向きな気持ちが高まるようです。今日、みなさんで話し合った経験を元に、子どもと一緒に考えながら、子どもの将来を応援できれば良いですね。</p>	

体験！シューカツ面接官

高校生と保護者を対象としたある調査では、「子どもへの進路選択のアドバイスが難しい」と感じる保護者は約7割ありました。理由は「社会がどのようになっているか予想がつかない」からだといいます。しかし、どのように社会環境が変わろうとも、親から子への普遍的なアドバイスもあると思います。今日は、みなさんが、就職試験の面接官になったつもりで、子どもに必要な「力」について考え、その「力」をどのように身につけさせるか話し合ってみましょう。



ワーク1 面接の質問を考えてみよう。

新卒者の採用面接をします。筆記試験で測る知識や仕事に必要な資格以外で、受験者に求める力を尋ねる質問を2つ考えてください。

求める「力」	質 問
仕事に対する意欲	例) この仕事を志望する理由を教えてください。

ワーク2 仕事をするうえで必要な「力」ベスト3！

必要な「力」	理 由
1位	
2位	
3位	

ワーク3 1位の必要な「力」を自分の子どもが身につけるために親にできることは何でしょうか？



《今日を振り返って》